

EFAによる2次元AFMスペクトルデータにおけるノイズ除去



目で見ると
海外論文発表

山西 絢介*

Drastic reduction of noise from 2D AFM spectrum data using
exploratory factor analysis : Data Mining

Key Words : AFM, EFA

<参加会議名> The 21st International Conference
on Non-contact Atomic Force Microscopy
<開催場所> Porvoo, Finland
<渡航期間> 2018年9月17日ー2018年9月21日
<発表タイトル> Drastic reduction of noise from
2D AFM spectrum data using exploratory factor
analysis : Data Mining

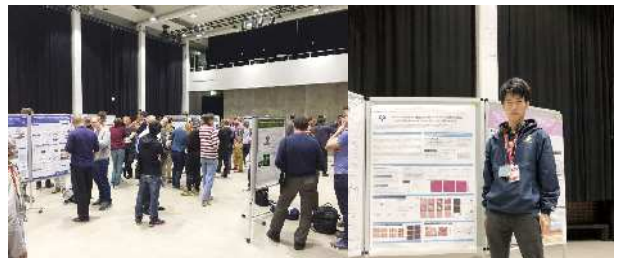
NC-AFM 2018での経験

この度、私は一般社団法人生産技術振興協会の海外論文発表奨励賞に採択して頂き、2018年9月17日から9月21日にかけて、The 21st International Conference on Non-contact Atomic Force Microscopy (NC-AFM2018)に参加し、ポスターにて発表を行いました。

NC-AFM2018は、非接触原子間力顕微鏡の近年の進展を議論する国際学会であり、発表内容は実験に関するものから理論的なもの、更に装置の開発に至るまで、非接触原子間力顕微鏡の全ての分野の研究について議論が活発に行われる学会です。本会議では非接触原子間力顕微鏡を用いた高い空間分解能での物理現象の観測を軸にした研究で知られている先生方が主に口頭で発表されており、この分野における現在の国際的な研究動向を知る上で重要な機会を得ることが出来ました。

本会議にて、私はポスター発表を行いました。研究内容の種類は他の発表と異なっており本会議においては独創的なものだったにも関わらず、多くの参加者に興味を持っていただき高い評価を得ることが出来、様々なアドバイスも得られることが出来ました。また、ポスター発表を経て他の若手の外国人研究者と交流を深めることができ、研究者としての世界でのネットワークを作ることができました。このような経験が研究者としての今後に大いに役立つと感じました。

最後になりましたが、本会議への参加における多大なご支援を頂きましたことを心より厚く御礼申し上げます。



学会会場の様子



ポスター発表



ポルヴォーの景色



研究者交流



* Junsuke YAMANISHI

1990年10月生まれ
大阪大学大学院 工学研究科 精密科学
応用物理学専攻修士課程 (2016年)
現在、大阪大学大学院 精密応用物理学
専攻 工学研究科 菅原研究室 博士後
期課程3年 修士 走査型プローブ顕微
鏡 光物性 統計解析
TEL : 090-5066-8145
E-mail : yamanishi@ap.eng.osaka-u.ac.jp